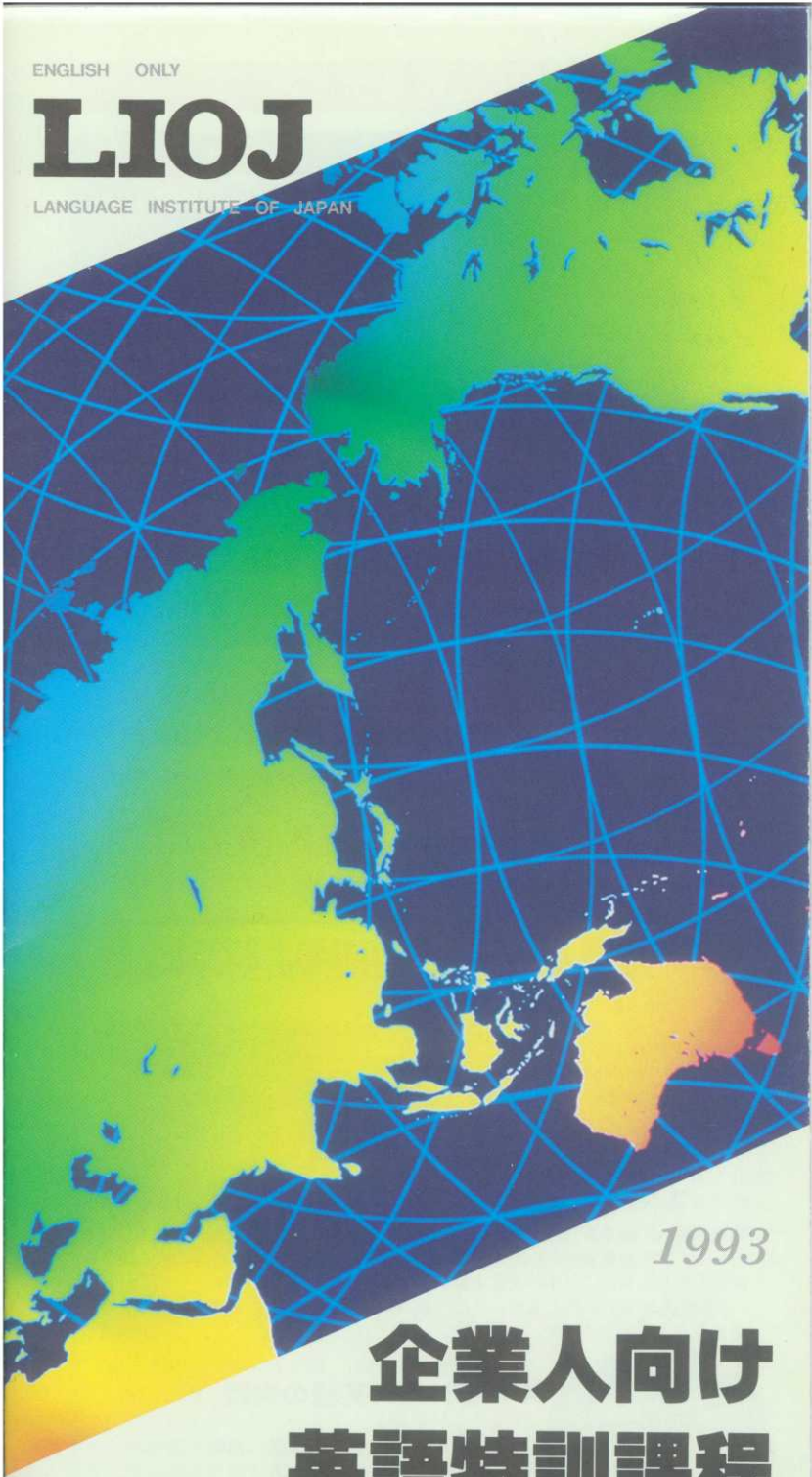


ENGLISH ONLY

LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN



1993

**企業人向け
英語特訓課程**

BUSINESS COMMUNICATION PROGRAM

LIOJ

●LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN●

生きた英語の習得と異文化への理解を深めると共に国籍を越えた真のヒューマン・リレーションの確立に貢献できる「人づくり」を目的とした教育研修機関として、財団法人MRAハウスの公益事業の一部門として昭和43年3月に設立されました。コミュニケーションスキル向上にとってもっとも理想とされる英語オンリーのTOTAL IMMERSION方式を日本で初めて本格的に採用。発足以来、一貫した合宿制研修のスペシャリストとして、常に新しいアイデアと可能性への挑戦を実践するそのユニークなカリキュラムと質の高い教育は、24年間にわたり高い評価をいただいております。今年度は、企業人向け英語特訓課程(BCP)の他、小田原近隣の方々を対象としたコミュニティプログラム、第25回英語教育者のためのサマーワークショップ、タイ国におけるティームティーチングプログラムを開催する予定です。また、海外教育事業交流プログラムとして、タイ国、ホンコンなどのアジア諸国から英語教師や学生を奨学参加者としてLIOJのプログラムに招聘しております。

高い質を誇る専任教師陣 (18名のNATIVE SPEAKERS)

LIOJでは、年間500名に及ぶ海外からの応募者の書類選考後、面接を行なった上で、人格・能力ともに最も優れた人物をフルタイム教師として採用しています。英語を第二言語として教える学位E.S.L.(English as a Second Language)を習得した経験豊富なエキスパートを中心に国際ビジネス、経済、技術など企業人コースに即した様々な分野からも優れた人材を集め、高い教師の質とバラエティーを誇っています。更に、教師の研修にも力を入れ、JALT, TESOL, IATEFLなど、国際的英語教育学会へも積極的に参加しています。また、常に最高の指導を提供するためDirectorやSupervisorらが授業を参観し、各教師に個別指導を行ないフォローするのみならず、教師間でもお互いにオブザーブするシステムや定期的なセミナーを設け積極的な意見交換を採り入れています。



LIOJ FACILITIES

アジアセンターの改修に伴い、2階は、LIOJの専用スペースとなりました。宿泊室はすべてバス・トイレ付ツインで、自習のための机、長期滞在に十分なワードローブ等、LIOJのプログラムに適した部屋造りになっています。

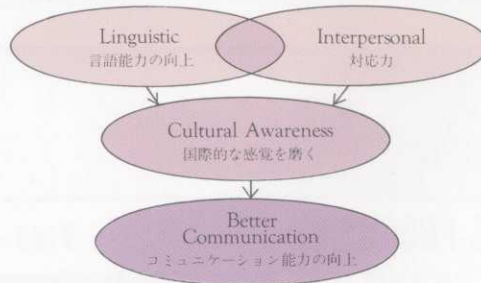
その他、教室、LL教室、ラウンジがあり、ラウンジには、VTR、二ヶ国語放送、衛星放送受信機器ほか、ビデオ映画、英字新聞、外国雑誌・図書、ステレオ/CDなど、充実した研修と快適な生活のための設備が整っております。

ENGLISH ONLY

ビジネスコミュニケーションプログラム(BCP)は、教室での授業や課外活動他全ての生活を英語オンリーの環境の中で過ごすことにより、英語のヒアリング、スピーキング能力を高め、異文化に対する理解を深めるビジネスマンのための3週間合宿コースです。Total Immersion を取り入れた3週間のプログラムで、受講生は授業のみならず英語オンリーの合宿期間中、日常生活の多くを外国人教師と共に過ごすことが出来ます。



G · O · A · L · S



LIOJでは“何がわからないか”ということよりも“何がわかるか”に焦点をあてています。急速に変化するビジネス界において、文化的、習慣的な壁を越えて効果的なコミュニケーションをするには、言語能力のみでは不十分です。LIOJでは国際理解とコミュニケーションを実践するため言語だけでなく習慣に関するトレーニングを組み入れています。

DIRECTOR'S MESSAGE



Don W. Maybin
Director

The Language Institute of Japan was the first institution to provide an intensive residential program in this country for improving communication skills for business professionals. Over the years, we have developed a reputation for quality and innovation. At LIOJ, we maintain a well-established combination of sound classroom training and extensive informal contact hours, yet continually seek new ways to prepare our clients for the situations they will encounter. Innovations include realistic, comprehensive simulations which integrate language skills, and a range of elective classes to meet individual needs. There is also a selection of evening programs, and an overnight Cultural Retreat, during which students develop greater cultural awareness and understanding through interaction with our multicultural staff. Our intensive three-week program has clear goals which students work toward in a supportive atmosphere. A quality curriculum, implemented by our committed staff, ensures that learners get the most for their efforts at LIOJ.

Don Maybin received his M.A. in Applied Linguistics from the University of Essex (U.K.) in 1987, and a Royal Society of Arts (RSA) Certificate in TEFL in 1984. He has been teaching for twenty years, most of them in Japan at a variety of institutions, including state high schools, junior colleges, Mitsui Engineering and Shipbuilding Company, and Kagawa University. In addition, he conducts teacher training workshops, and has published a variety of classroom materials.

ASIA CENTER

LIOJは小田原駅に近い閑静な高台にあるアジアセンター(当財団の施設)に常設されております。アジアセンターは、地上5階、地下2階の建物で、箱根連山を背に相模湾に面し、大島、伊豆・三浦半島を一望におさめる景勝の地にあります。企業の教育研修場・国際会議場として落ち着いた研修に専念でき、交通も至便であることから多くのの方々にご利用いただいております。この度、建設30周年を迎え、建物を大幅に改修し、160名の宿泊食事施設、さまざまな研修規模に対応できる大小17の会議室、各種教育機器、各種販売機、コインランドリーなどの設備他、新たにレストラン、軽い運動のできるジム施設を備えています。

研修会場ご利用のお問い合わせは：
アジアセンター ☎0465-22-6131



PARTICIPATING FIRMS

昭和43年開講以来、既に通算で241期以上を開講。全国647の企業、団体から5861名に及ぶビジネスマンの方々にご受講いただいております。

主な受講会社

アイカ工業、ICIジャパン、アクゾ・カシマ、浅沼組、旭化成工業、アスモ、アドバンテスト、アラコ、アルメックス、安藤建設、安徳皮革化製所、アンリツ、市光工業、植木組、A.T.カーニー、NTN、AIU、ABBカテリウスインダストリー、MOAインターナショナル、大阪セメント、太田昭和監査法人、大林組、オムロン、オリンパス光学、海外電力調査会、カイトック、カーギルノースエイジア、加藤発条、鐘紡、川崎製鐵、関西ペイント、監査法人トーマツ、キッコマン、キャタビラーエムエイチアイマーケティング、キャノン、共和リサーチ、旭洋、近畿リース、倉敷紡績、KDD、興亜石油、互応化学工業、国際計装、コスモバイオ、ゴードックス、コニカ、小松製作所、小松ゼノア、小松電子金属、五洋建設、検測器、山陽特殊製鐵、J.ウォルタートンプソン、J.P.モルガン証券、シーベル機械、清水建設、シーメンス旭メテック、松風、ジョンソンエンドジョンソン、新電元工業、ススキ、住友金属鉱山、住友生命、生化学工業、ゼクセル、ゼネラル石油、ソニー、第一証券、第一生命、ダイセル化学工業、タウ化工、タウケミカル日本、高島屋日発、中外製薬、蝶理、帝人製機、テルモ、テルタ工業、電気化学工業、東海興業、東急不動産、東京電気、東ソー、東邦機械工業、東邦レーヨン、東洋エンジニアリング、東レ、東レ・デュボン、トクセン工業、徳山曹達、トビー工業、豊田自動織機製作所、トヨタ自動車、ナショナルセミコンダクタージャパン、ニコン、ニコンテック、日清紡、新田セラチン、日本IBM、日本アップジョン、日本インター、日本海事検定協会、日本紙パルプ商事、日本化薬、日本金属工業、日本軽金属、日本ケッチェン、日本生命日本チバガイギー、日本DEC、日本テトラパック、日本電装、日本ビクター、日本フィッリップス、日本フエロー、日本無線、日本リーパBV、日本ロッシュ、日本郵船、日軽冷熱、バイエルジャパン、バイエル日本歯科、バイエル薬品、バイオニア、ビクターマグネチック、日立製作所、日立電子サービス、日立物流、P&G、P&Gケア、P&Gファーマーイースト、ピップフジモト、ビジョン、兵庫製紙、フィリップモーリス、藤沢薬品工業、富士電機、プリストルマイヤーズスクイブ、プリヂストン、ヘキストジャパン、ホリプラステックス、本州製紙、マックスファスター、松下政経塾、マツダ、松本油脂製薬、マブチモーター、ミクニ、三菱アルミニウム、三菱自動車、三菱ビルテクノサービス、明治生命、メルリンチ証券、モルガン銀行、山一証券、経済研究所、ヤマハ、ヤマハ発動機、浅湯電池、ユアサ電池メンテナンスサービス郵趣サービス社、有機合成薬品工業、ユニオンカーバイド、リコー、リーバイストラウスジャパン、和公他。

(あいうえお順、敬称略)

*海外教育事業交流の一環として、チュラロンコン大学、タイ商工会議所大学、タマサート大学、アジアの企業などから特別奨学参加者を招聘しております。

LIOJ

LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

〒250 神奈川県小田原市城山4-14-1 アジアセンター2F
TEL.0465-23-1677 FAX.0465-23-1688

◆交通の便 小田原駅下車(JR東海道・新幹線、小田急線) (駅からタクシーで5分)

24名定員の公開講座



年間12回開講されるこの講座は、各回24名の定員を厳守し、1クラス4~8名の能力別3クラスに編成します。本年度26年目を迎えるこの講座は通算241期を開講するに至り、全国647社の企業・団体5861名の方々のご受講を頂いております。

ほとんどの受講者は企業からの派遣で、様々な分野の第一線で活躍しているビジネスマン(女性参加者も含む)ですので、それぞれが高い目的意識とモチベーションを有しています。また、異業種、異職種の方々との交流、人材開発の場としても有益です。

受講対象者：TOEIC 350~730点

英語力の有効活用と英語オンリーの研修のため、受講対象者はTOEIC 350~730点、または同等のレベルの方々で最適なレベルで受講いただけるコースです。新人から管理職まで事務系、技術系を問わず海外赴任や海外研修を直前に控えた方、海外出張や国内業務で常に英語を必要としている方、転職の際、英語力が必要とされる方などに最適です。

PLACEMENT



開講日より2日間にわたり行なう下記の3つのテストの総合点により能力別クラスに編成致します。更にクラス全体のバランスを見たいうえで受講生が最も効果的に学習できるクラスに配属します。1クラスは4~8名の少人数制です。

GRAMMAR TEST
LISTENING TEST
ORAL INTERVIEW

MEALS WITH INSTRUCTORS



合宿生活の中で特に大きなウエイトを占めるのが、教師を囲んでの毎日の食事時間です。English onlyの食堂では、クラスを離れた自由な会話環境がアレンジされますので、日本人が最も不得手とするインフォーマルかつ自ら会話を進めなければならない状況での会話能力の向上に最適です。



FINAL EVALUATION REPORT

コース終了時には、受講者各自の3週間の実績に基づき、各クラス担当教師により評価が行われ、総合評価表として企業に送付されます。教師所見はもとより、英語力、国際ビジネス社会での業務遂行能力、異文化対応力や研修受講姿勢など、実践的コミュニケーション能力と問題解決能力を総合的に評価するものです。また各受講者にはクラスで行なったプレゼンテーションの収録ビデオが渡されます。

DAILY SCHEDULE

7:50~8:30	BREAKFAST	4:00~4:15	BREAK
9:00~12:00	BUSINESS COMMUNICATION CLASS	4:15~6:00	ELECTIVE CLASS
12:00~1:30	LUNCH & BREAK	6:00~7:00	DINNER
1:30~4:00	BUSINESS COMMUNICATION CLASS	7:00~8:30	EVENING PROGRAM

●カリキュラム●

C U R R I C U L U M

[BUSINESS COMMUNICATION CLASS]

9:00~12:00・1:30~4:00



ビジネスコミュニケーションクラスは、午前と午後、能力別に編成されたクラスの各担当教師による授業です。この授業では、ビジネス英語を習得し、異文化間のコミュニケーション能力を向上できるようプログラムしてあります。

WEEK 1 フォーカス：コミュニケーション方法

●1週目のフォーカスは、国際的なあらゆる場面で必要とされるコミュニケーション方法の向上にあてられています。受講生は、会話の始め方や維持の仕方、理解できない場合の対処の仕方、限られた語彙力での説明の仕方を習得します。さらに、自己紹介及び会社・職務に関するプレゼンテーションなどの表現能力及び即興の会話能力の向上を図ります。



WEEK 2 フォーカス：異文化間におけるコミュニケーション方法

●2週目のフォーカスは、異文化間におけるコミュニケーションの向上をはかるため集中的なトレーニングにあてられており、受講生の国際感覚を鍛えることを目的としています。文化的な視点からコミュニケーションする能力及び最終的には他の文化を理解する能力の向上を図るものです。さらに、フォーマルなプレゼンテーションをするための表現方法や言葉を使わないコミュニケーション方法を学びます。

——スペシャル・アクティビティ：カルチュラル・リポート——

箱根方面へ1泊2日で行けるこの校外活動は、コミュニケーション方法と国際交流トレーニングの集大成といえるプログラムです。授業で習得した内容を実践する多くの機会が与えられ、日本の文化を解釈、説明するためのコミュニケーション方法を用い国際的な場面に対処します。また、個人的なレベルで他のクラスの受講生や教師と交流することができます。

WEEK 3 フォーカス：ビジネス英語の実践

●3週目のフォーカスは、ビジネス電話、ビジネス会議、情報と意見の交換、決議の4つの分野についての集中的なトレーニングにあてられています。価格の問い合わせからアポイントを取るまでの様々な状況での電話応対の練習、及び、ビジネス会議のシュミレーションでは、意見の発表、賛成、反対、決議をするための適切な表現を学びます。

[ELECTIVE CLASS]

4:15~6:00



選択クラスは、受講生各自の目的、必要性に細かく対応し、多岐にわたる業務関連の能力を高めるために設定されています。クラス分けの段階で、受講生は、教師と相談の上、自身の要望、能力に最も適したクラスを選択します。尚、いずれの選択クラスも全6日間のカリキュラムですが、1日おきに行われ、2種類のクラスを受講出来ます。ビジネス・ライティング、技術的情報交換の方法、テレフォン・プラクティス、プレゼンテーション、リスニングと発音、サバイバル・イングリッシュなどのクラスがあります。また、お申し込みの際、特別クラスをアレンジすることも可能です。

[EVENING PROGRAM]

7:00~8:30

イブニングプログラムは、受講生がフォーマル・インフォーマルを問わず海外の文化に触れる機会を提供します。通常、1週間に2種類のイブニングプログラムがあり、受講生はクラスメイト以外の受講生と交流することができます。また、この時間帯は、イブニングプログラムあるいはセルフスタディーの選択が可能です。各々の課題や復習に対応します。



●ウエルカムパーティー
●ゲームズナイト
●カクテルパーティー
●外国人講師による特別レクチャー
●マジックショー
●フェアウエルディナー&パーティー
上記の他、様々なイブニング・プログラムが用意されています。